

## 東京医科大学医学部医学科 教育到達目標

卒業時に達成すべき学修成果を10の教育到達目標として掲げ、それらを達成するために習得すべき能力を14領域、57項目として設定しています。これら57項目の達成レベルは、各項目ごとに、レベルD、レベルC、レベルB、レベルA、研修医レベルの5段階のマイルストーンで構成され、レベルAを卒業時の到達目標としています。

		領域数	項目数
1	礼儀・礼節を備え、敬意と思いやりの心をもって他者に接することができる。	2	4
2	リベラルアーツに裏打ちされた広い見地と豊かな教養を身に付け、全人的医療を実践するための能力を備えている。	1	3
3	医療プロフェッショナリズムを理解し、行動で示すことができる。	1	4
4	科学的根拠に基づいた医療の知識や技能を修得し、診療の実践に応用できる。	3	19
5	能動的な学習方法を身につけ、生涯に渡り研鑽を積む習慣を備えている。	1	6
6	ICT(情報通信技術)を利用した的確な医学情報を収集し、活用することができる。	1	4
7	多職種と協調したチーム医療の意義を理解し、実践に応用できる。	1	2
8	予防医学、保健・福祉を理解し、地域医療に貢献するための能力を備えている。	2	7
9	国際的視野を有し、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献するための能力を備えている。	1	3
10	医学研究の意義を理解し、基本的研究手法を身につけている。	1	5
	計	14	57

























【教育到達目標】 8 予防医学、保健・福祉を理解し、地域医療に貢献するための能力を備えている。

＜保健・医療・福祉制度の理解と応用＞

領域/項目		到達目標				
領域	項目	医師として実践できる	単位認定の要件である			レベルA, B, C, Dいずれかの内容について修得の機会はあるが、単位認定には関係ない
		研修医レベル	卒業時レベル A	レベル B	レベル C	
8-1 予防と健康管理・増進	① 社会医学	社会医学の観点から医療社会に貢献できる。	社会医学の知識を、保健活動及び医療に応用できる。	社会的存在としての人間を重視して研究・診療を行うことの重要性を理解し、社会医学の知識を網羅的に提示できる。	社会医学の基礎的知識を説明できる。	
	② 国際医療	世界の健康の向上および増進のため、国際機関等の活動に参加する。	世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる。	世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる。	世界の保健・医療関連について説明できる。	
	③ 健康増進・予防	地域や臨床の場での予防医療を実践できる。	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を保健活動及び医療に応用できる。	頻度の高い疾病について、環境衛生の改善、伝染病の予防、衛生教育、疾病の早期診断と予防的治療のための医療など、予防戦略についての知識を提示できる。	基礎的な予防医療について説明できる。	
	④ 公衆衛生	地域および行政機関等において、人々の健康の向上および増進のための活動ができる。	地域住民、労働者、学生等、それぞれの集団の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な保健活動及び医療を説明できる。	様々な集団や場特有の健康問題とその解決に資する方策を説明できる。	人々の健康の向上、増進に関する基礎的な知識および行政について説明できる。	

科目一覧

	5-6年		5年		4-5年		4年		3年		2年		1年			
	臨床医学系	臨床実習	横断的領域	臨床医学系	社会医学系	基礎医学系	横断的領域	外国語	臨床医学系	社会医学系	基礎医学系	横断的領域	外国語	自然科学系	人間学系	
①	D			D	A			B	D	B						
②	D			D	A			B	D	B						
③	D			D	A			B	D	B						
④	D			D	A			B	D	B						





